

*SSSV in Thailand

**Takuma Sakurai, Kengo Sugiyama, Hiroshi Takemoto,
Syunsuke Nakazawa, Hironori Tominari, Hiroaki Harakawa,
Tomoya Murai**

Kimbara · Shintani Lab

*SSSVとは？

Short **S**tay **S**hort **V**isit の略称

SSSVの目的及び概要

グローバル化する現代社会において学生が、海外の大学の研究室との協同活動を通じて、海外の同性代の学生と交流を行うことで、外国語能力、発表討論力、国際感覚の重要性を認識し、自律性をもって学び、自己発展出来る人材となり、将来、学生が国際的な立場で率先的に括約できる人材となるためプログラム

* タイ王国について



約7時間

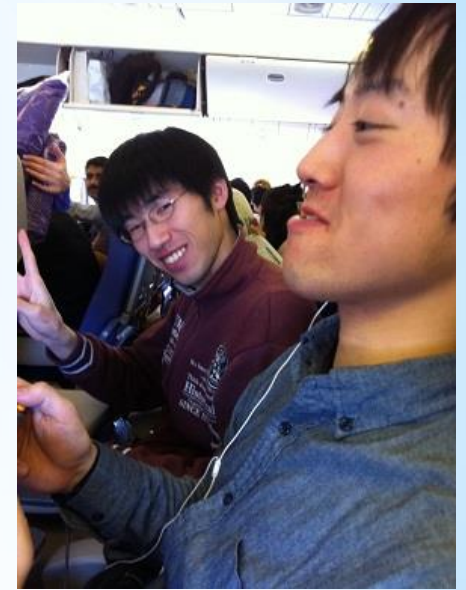
浜松

タイ

* スケジュールと主な訪問先



	午前	午後
1日目	フライト中	ホテル着（バンコク）
2日目	水上マーケット	会食（パタヤ）
3日目	ブラパ大学訪問	ブラパ大学訪問
4日目	スリナカリンウィロット大学訪問&発表会（突然）	チュラロンコン大学訪問
5日目	発表練習（自由）	発表練習（自由）
6日目	セミナー@カセサート大学	セミナー@カセサート大学
7日目	KMUTT訪問	ワット・ポー周辺
8日目	アユタヤ遺跡	寺院めぐり
9日目	自由	日本へ



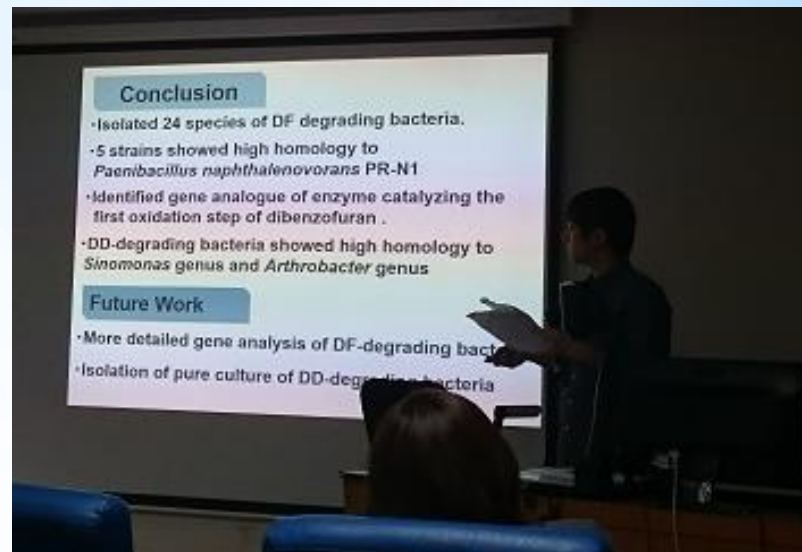




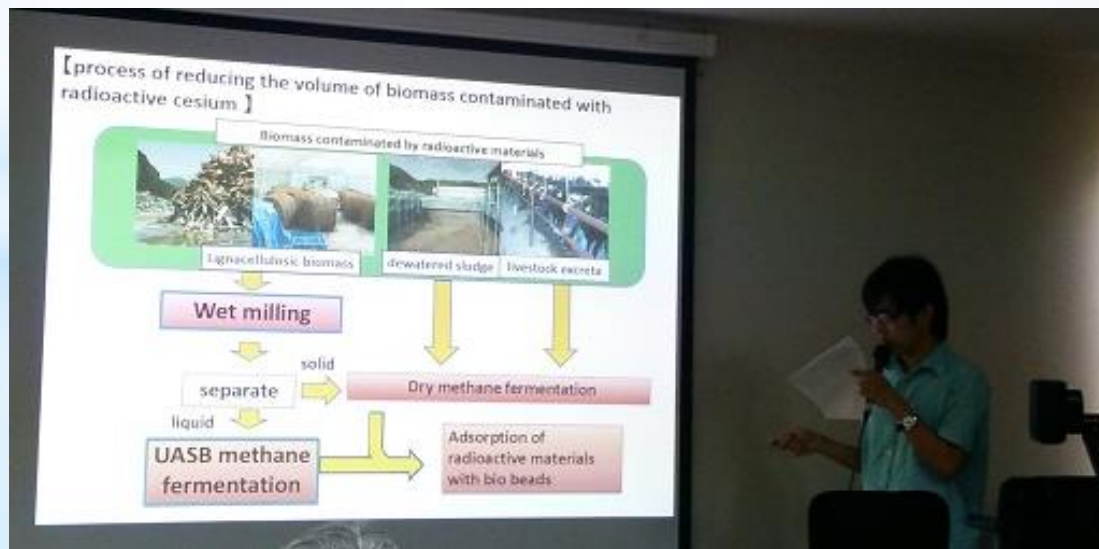
* 四 日 目



* 四日目 (突然な発表会)



たどたどしくも発表する研究室メンバーたち



* 五 日 目



* 六目目 (発表本番)



* 六日目 (休憩中)



* 六日目 (交流会)



* 七 日 目

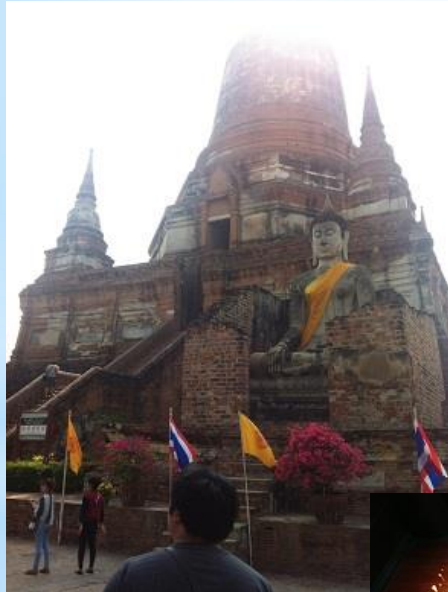


* 七月目





* 八 日 目



* 九 目 目



*SSSVを通じてわかったこと

Facebookやlineといったツールを持っているとコミュニケーションがかなり楽になった。

TOEICの点数がかなり高い人ですら、言葉だけで相手に自分の言いたいことを伝えるのは困難だった。

しかし、わからない言葉を言い換える発想力と発言に対するレスポンスの瞬発力、伝えようとする意志をフル活用することにより、楽しく会話を成立させることが出来た。

国外の研究室の規模の大きさに非常に驚いた。

国内にとどまらず世界にもっと目を向けていくことの重要性を感じた。